

総合政策

震災の教訓と対策

問 山田 東日本大震災の教訓と対策については。

答 帰宅困難者が発生したことや、通信手段が途絶えたことなどがあり、地域防災計画を見直します。また、災害時に地域で活動の中心となる自主防災組織を支援していきま

マンションの震災対策の充実

問 新井 昨年の大震災から一年が経過。防災計画の見直しに当たり、市防災計画での位置づけを強化し、防災ネットワークの確立などマンションに特化した対策が必要では。

答 地域防災計画への見直しの中で、位置づけの強化を

討していきます。自主防災組織や管理組合、企業を巻き込んだ防災ネットワークは、今後の検討課題とします。

防災資機材の整備を

問 小林 震災時に光の確保は重要だが、発電機や投光器のない町会・自治会がある。防災資機材整備に関する今後の対応は。

答 防災資機材全体として更なる整備をし、必要品目の達成率一〇〇%を目指します。

地域防災力の向上について

問 西 鶴ヶ岡地区に未利用市有地を活用した防災備蓄倉庫の設置の考えは。

答 地域防災計画の見直しの中で、消防団大井第四分団隣地を含め市有地等活用の検討



ふじみ野市消防団大井第4分団隣地

合支所ですべての業務ができるよう努めていきたい。

公共施設に自動二輪車駐車場の整備を

問 民部 自動二輪車の駐車場がない。公共施設に自動二輪車駐車場の整備を。

答 専用駐車場を確保するのは困難です。自転車駐車場に自動二輪車も利用できる施設であることが分かるよう、看板を設置します。

大井保健センターの今後

問 伊藤初 大井総合支所複合施設完成後、今の大井保健センターで実施されている事業は。

答 健診・予防注射・相談事業は複合施設の保健事業対応の多目的ホールで実施されます。その他の事業については



大井保健センター

今後検討していきます。

問 大井保健センターを地域コミュニティ施設として建て替えてはどうか。

答 建て替え計画はありません。

公共施設予約システム

問 山田 公共施設予約システム導入後、公平性の面で問題がある。是正については。

答 抽選予約において、重複して抽選申し込みをしている実態があります。予約方法の見直しを行なうなど、早急な是正を図っていききたい。

広域ごみ処理施設周辺の生活環境対策

問 足立 広域ごみ処理施設建設に伴う駒林・新田・中福岡・福岡の生活環境対策は。

答 道路・水路整備など地域要望で平成二十二年度に協定を締結し、平成二十三年度から計画的に整備中です。

問 平成二十四年度に予算化している道路整備で、富士見市と接続する箇所の事前協議は。

答 これから行なう予定です。

太陽の家の今後

問 足立 老人センター・太陽の家は、新施設でも高齢者福祉計画を位置づけた運営に。

答 新施設は、余熱を利用し、子どもから高齢者まで広く利用できるコミュニティ施設です。高齢者の生きがいづくりの場にもしていきたい。工事期間中は、現太陽の家の利用者が大井総合福祉センターを利用できるようにバス運行も予定してい



工事中のアウトレットモール

ます。

環境基本計画・行動計画に関して

問 小林 環境基本計画・行動計画の第一期が終了するが、今後の見通しや取り組みは。

答 環境を知り、守り、育むには人づくりが重要で、教育機関との連携も必要です。環境講座、環境フェア、自然体験、緑のカーテン事業等を通して、連携を図っていききたい。

商業振興策について

問 西 アウトレットモール「リズム」が改修工事を行

問 島田 跡地活用の考えは。

答 財政上、本市が跡地を活用することは難しく、消防本部と構成市町で協議していく問題と考えています。

問 この地域のまちづくりについて、市長の考えは。

答 限られた財源の中、可能な限り地域課題をかなえ、魅力を引き出すとともに、これまで進めてきたことが評価されるようなまちづくりを進め



入間東部地区消防組合消防本部

入間東部地区消防組合消防本部の移転後

問 跡地活用の考えは。

福岡高校の統廃合後に

問 島田 学校施設活用の考えは。

問 民部 志木市立市民病院での小児救急診療の継続が不透明。本市での小児救急は今後どうなるのか。

答 初期救急は東入間医師会の小児時間外救急診療所で行



県立福岡高校

答 新校基本計画では、地元関係者の協力をいただいていた経緯を踏まえ今後の利活用を検討するとされており、地域住民の考え方に基づいた要望をしていききたい。

医療・福祉

今後の小児救急は

なっており、二次救急は県が整備します。本市は川越医療圏ですが、志木市立市民病院を受診する小児もいるので、平成二十四年度以降も、今の体制を堅持する前提で財政支援の意思表示をしています。